

# 地域とともに

和みの医療センター 阿南病院だより

Anan Hospital News



地域の明日を医療で支える  
地方独立行政法人  
長野県立病院機構  
長野県立阿南病院

第4号

2017年3月

## 当院の大規模災害時の訓練として

### 10月15日に行われた中部ブロックDMAT実動訓練に受援病院として参加



#### 目次

- 阿南町地域医療介護  
連携支援システムについて…………… 2
- シリーズ職場紹介「放射線技術科」… 2
- できごと…………… 3
- 医師の紹介…………… 4
- 外来診療担当案内…………… 4
- お知らせ…………… 4

#### 基本理念

- 私たちは、地域の中核病院として質の高い医療を提供します。
- 私たちは、患者さんの人権を尊重し、明るくやさしさと思いやりのある医療を提供します。
- 私たちは、地域の保健・医療・福祉機関との連携のもと、地域に根ざした医療を提供します。

大規模災害の発生に際し、中部ブロック各県DMATが緊密な連携を図り、被災地における病院支援、医療搬送、救急医療等を迅速に実行できるよう実践的訓練が、長野県中南信地域で行われました。当院は災害拠点病院の飯田市立病院の受援病院として参加し、愛知江南厚生病院DMATチームをはじめとする5チームが派遣され診療支援、搬送支援など本番さながらの訓練が実施されました。

午前6時に伊那谷断層帯でM8.0の地震が発生、飯田市震度7、阿南町震度6弱という想定で、DMAT到着までに当院での大規模災害時の訓練として、本部設置訓練・トリアージ訓練を行い、その後、DMATと協働して診療や患者搬送、ロジスティック訓練などを行いました。

DMATコントローラーの患者想定の変化などによりとてもリアルな訓練ができ、当院スタッフは、大規模災害時の医療継続の難しさや、実際の場面ではどうしたらよいかなど、様々なことを真剣に考えさせられた一日になりました。

# 阿南町地域医療介護連携 支援システムについて

阿南町が導入したエイルシステムを協働で再構築し当院電子カルテシステムとの接続を進め、阿南病院を中核とした在宅患者等の要支援者見守り情報との統合をモデル的に構築し、在宅患者の『住み慣れた地域で暮らしたい』という願いを叶えるため、活用を進めています。

病院や訪問看護、介護など地域の医療施設の間で、患者情報を共有できる仕組みを開発し、病院の検査データを診療所の医師が活用したり、訪問看護や介護施設などの現場で患者情報を整理し相互参照ができるようになりました。

6月27日に阿南町で完成式が行われ、国が進める地域ぐるみで高齢者を支える「地域包括ケア」の構築に一步前進しました。

## 【内容】

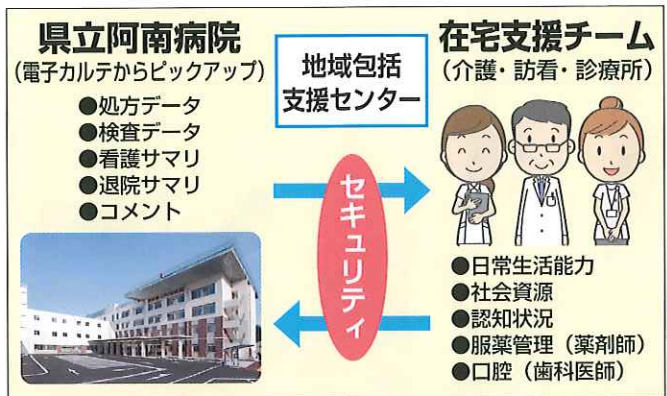
連携する医療関係者や介護関係者、その他関係機関職員が、医療や介護を受ける方のお薬の内容や検査結果等を閲覧することで、より安全な医療や服薬指導を受けられます。また、日常生活状況や認知症症状を共有することで、在宅療養する際に必要なサービスを早くから準備することができるようになります。

## 【関係事業者】

阿南病院（後方支援病院）、阿南町地域包括支援センター、町内診療所などの医療機関、訪問看護ステーションさくら、介護事業者、歯科診療所、飯田薬剤師会、阿南学園、富草寮など

## 【対象者】

当システムを活用したい阿南町内の住民（在宅要支援者など）及びその連携者



シリーズ

## 職場紹介

放射線技術科は、おもに放射線を使った検査や治療を行っています。高速で体の輪切り撮影が行えるヘリカルCT装置や頭・背骨など全身を強力な磁力で撮影するMRI装置、早期の乳がんの発見に有効なマンモグラフィー装置、骨の強度を測ることができる骨密度測定装置などひととりの装置が整備されています。

現在3名の診療放射線技師で、昼間はもちろん夜間休日24時間体制で業務に当たっています。

当科では安全で良質な放射線医療を提供することを責務とし、常に技術の習得に努力することを目標としております。検査や治療で放射線技術科へお越しの際は気になる点、痛いところなどを、遠慮なく担当技師にお申し付けください。

できるだけ親切丁寧な対応を心がけています。

## 放射線技術科



MRI撮影の様子

## 9月22日 第13回 阿南病院・アイライフあなん 南宮祭

メインテーマを『つなげよう地域の絆と思いやり～医療と介護の連携を目指して～』として、あいにくの雨模様でしたが、来場者約300人と盛大に開催されました。医療講演会はNPO法人やじろべー代表 中澤純一先生にお話し「認知症の理解と支えることの意味を考える」と題し、楽しくわかりやすく認知症のお話しをしていただきました。その他にもカッセイカマンショー、南宮祭大抽選会、消防車・パトカー展示、豚汁サービスなど盛りだくさんの企画で地域の皆様楽しんでいただきました。



消防署と共同による  
一次救命処置



医療講演会



お薬調剤体験



非常食の展示と試食

## 11月5日 第23回長野県自治体病院研究会を実施

当院が当番で、阿南町文化会館において県内の自治体病院が集まり、8つの一般演題発表と厚生労働省保険局医療課 眞鍋馨企画官をお招きして『平成28年度診療報酬改定の意図と医療政策の方向性』と題した基調講演を行いました。

医療・介護・社会保障制度などの大きな転換期の中でのどのように病院機能を果たしていくかなど、改めて考える良い機会となりました。



## 6月から職員認知症サポート研修を実施

全職員を対象とした認知症サポーター研修を7回実施し150名が受講しました。高齢の患者さまが多い当院において、職員が認知症を正しく理解し高齢者に優しい病院・地域づくりを実践するため、委託職員を含めた全職員の受講を目指しています。

また、認知症なんでも相談室では、相談業務はもとより、地域でのサポーター養成講座や講演など啓発活動も積極的に行っています。



## 5月に認知症カフェ『かふえ なごみ』がオープン

様々な方が集い安心して過ごせる場所です。折り紙、陶芸、縫い物などいろいろな活動をして楽しんだり、地域の人と出会い一杯のコーヒーを飲みながら交流し、参加者みんなでその時を作っていきます。

専門のスタッフが参加しており、「認知症豆知識」でちょっと勉強したり、ご相談にも応じています。

◎毎月第2木曜日

10時～12時に実施





## 小紫裕介 眼科部長

昭和60年奈良県立医科大学卒業、神戸市立中央市民病院に平成10年まで勤務、その後、信州大学付属病院、県立須坂病院、松本歯科大学病院、西の京病院（奈良県）を経て、平成28年5月より現職

奈良での3年を除けば信州で働くのはかれこれ20年になりますが、南信地区は初めてとなります。飯田以南に常勤の眼科医がない状況が続いておりましたが、地域の皆様の目の健康に少しでもお役に立てれば、との所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

【所属学会等：日本眼科学会・日本眼科学会専門医】

## 県立阿南病院 外来担当医師

平成29年4月1日～

診療科	曜日	月	火	水	木	金	備考
内科		田中 雅人 蜜澤 邦洋	田中 雅人 伊東 一博 久保 惠嗣 (第2,4午前10時から)	伊東 一博 小林 北斗	伊東 一博 蜜澤 邦洋	田中 雅人 小林 北斗	診療予約あり
	内科専門外来					脳卒中 大東 陽治 (月1回)	
小児科		片桐麻由美	片桐麻由美	片桐麻由美	片桐麻由美	片桐麻由美	水曜日午後予防接種 (予約制)22-2121(代) 予約の電話は 午前11:30～12:30に お願いします
外科		坂本広登(隔週) 飯田市立医師(隔週)	坂本 広登		坂本広登(隔週) 飯田市立医師(隔週)	坂本広登(第2,4) 阿藤一志(第1,3,5)	診療予約あり
	救急外来		信大医師(月4回)				科を問わず診察します
整形外科		藤岡 文夫	信大医師 (午前9時半から)	藤岡 文夫	鈴木健太郎 (受付午前10時半まで)	藤岡 文夫	診療予約あり
泌尿器科				愛知医科大学医師 (第1～4)			診療予約あり 診療時間午後2時～5時 受付時間午後4時半迄
眼科		小紫 裕介	小紫 裕介	小紫 裕介	小紫 裕介	小紫 裕介	手術日、検査日は休診
精神神経科		こころの医療センター 駒ヶ根医師(第2,4)				吉田 朋孝	
	小児・思春期外来	神庭靖子(第3)					予約制
婦人科						飯田市立医師 (第1,3,5)	午前11時から診療

※担当医師は都合により変更になることがあります。

## お知らせ

- 4月から外科が常勤化となり、診察日が水曜日を除く毎日となります。
  - 4月から泌尿器科の診察が週1回となります。(第1～4週 水曜日 午後)
  - 4月から内科医師の担当曜日が変更になります。
- ※詳しくは医事課までお問い合わせください。



## あしがき

平成28年度もあとわずかとなりました。阿南病院では、今年度『医療介護連携支援システム』の本格稼働、認知症カフェのオープンなど多くの出来事がありました。来年度も引き続き地域に根ざした医療を提供していきます。ご意見・ご感想などお気軽にお寄せください。

編集委員長

